



Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daijanji.or/jdgn/index.html>

事務局: 加納 (Tel/Fax 0742-22-3636) 林 (hayashi@mercury.sannet.ne.jp)

“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は事務局へ”

行事予定

1. クリスマス会

日時: 12月3日(土) 17:30~20:00
 場所: 和ダイニング「花小路」
 会費: 3,000円(学生2,000円)
 詳細案内を添付します。ご出席をお願いします。

2. 近畿地区日独協会新年会

日時: 2012年1月7日(土) 18:30~
 場所: 朝日スーパードライ梅田(大阪梅新交差点「フェニックスタワー」地下一階
 各個人で実費支払
 主催: 大阪日独協会
 参加申込: 事務局までご連絡下さい。

会員だより

1. 河野良文会長・日独友好賞を受賞。

日独友好賞はロバート・ボッシュ財団と非営利株式会社ビッグ・エスインターナショナルによる共同プロジェクトで、日独友好関係の発展に草の根的に継続して貢献してこられたドイツ人及び日本の方々を表彰するもので、河野良文会長が功労者部門で受賞されました。10月19日ドイツ大使館公邸で功労者部門41名、奨励者部門19名の授賞式が行われました。

2. 藤澤一夫さん・日独友好フォトコンテスト入選

日本、ドイツ両国の印象的な風景を収めた写真を募集した「日独友好フォトコンテスト」(ドイツ観光局・在日ドイツ商工会議所共催)で藤澤一夫さんが入選されました。1124点の作品応募があり、ドイツ人写真家ハンス・サウテル氏による厳選な審査の結果、25点の作品が選ばれ、10月28日、ドイツ大使館で表彰式が行われました。作品タイトルは「再生可能エネルギー」で、Sachsen-Anhalt州のPretzsch村のはずれに林立する発電用風車の写真です。



行事報告

1. 菩提樹植樹式並びに苗木贈呈式

(11月4日、県立図書情報館、会員14名他30名出席)
 日独交流150周年を記念しドイツ大使館より、当協会に5本の菩提樹の苗木が寄贈され、県立図書情報館前庭で植樹式と天理大学、奈良教育大学、大安寺への苗木贈呈式が秋晴れの良い天気恵まれ行われた。

ドイツ総領事館シュテファン・ピーターマン副総領事は「シューベルトの歌曲にも歌われた菩提樹はドイツ人の魂。この木が明るく活発な交流の象徴となることを祈っている」と挨拶され、同館の千田稔館長、河野良文会長と共に苗木に土をかけた。引き続き会員有志は「菩提樹」を合唱し=左上写真、日独交流の更なる発展に華を添えた。

式典後、同館エントランスホールで大阪フィルハーモニー交響楽団メンバーによる弦楽四重奏記念コンサートが開かれた。

天理大学では11月5日に、大学関係者・学生・ドイツからの留学生らが参加し盛大に植樹式が行われた。当会から加納雅之副会長が出席し「この苗木共々今後とも学舎から巣立ちされる若い人たちが立派に成長され日独交流に貢献されることを祈願している」と挨拶された=左下写真。奈良教育大学でも構内に植樹され、奈良公園に隣接しているためシカ防御ネットに覆われた=右下写真。



2. 全国日独協会連合会「年次総会」と「若手会員の集い」

年次総会は、10月21日(金)に「ナビオス横浜」で開催された。26協会63名が出席、当会から林保之・上野弥生理事が出席した。沖縄ドイツ協会及びいわき日独協会の連合会加盟、連合会副会長に仙台日独協会会長大和田康夫氏の就任などが承認された。

「若手会員の集い」は10月22日(土)に東京ドイツ文化センターで開催された。12協会約30名が出席し、各協会の問題点や今後の課題について意見交換がなされた。参加した上野弥生理事、巽みち子さんよりの報告書を添付します。ご参照下さい。